

ふくしまっ子

体力向上総合プロジェクト

H31. 1. 21
第41号
福島県教育庁
健康教育課

webなわとびコンテストに積極的に参加しよう!!

県教育委員会では、平成30年度ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト「体力向上ムーブメント事業『みんなで跳ぼう！webなわとびコンテスト』」を開催しています。子どもたちが楽しくクラスメイトと協力しながら友情を深め、体力・運動能力の向上が図られることを目指しています。小中学校合わせて97校（H31.1.21現在）が参加しています。

今回は、コンテストに参加している学校の中から、**塙町立塙小学校**の取組をご紹介します。

☆ やる気・本気・集中！跳んで・つないで・長なわ名人！ ☆

長なわ跳び（5分間0の字跳び）・長なわ記録会は**塙小学校**の伝統的な取組となっており、15年以上も前から実践されています。

塙小学校では、記録会を年3回（各学期末）実施しており、記録会に向けて各学級が一致団結して練習に励んでいます。記録会約1ヶ月前からは「スポーツタイム～長なわタイム～」（火～木曜日の業間10分）を全校一斉に実施しています。

平成30年10月31日より、「webなわとびコンテスト」が始まったことを受け、伝統は新たな歴史を刻み始めました。12月13日に開催された第2回目の記録会から、3分間8の字跳びで実施することにしたのです。目標記録を達成した瞬間、体育館は大きな歓声に包まれ、子どもたちは、記録を達成させるためには学級のまとまりが重要であることに気付いたようでした。

全学級がコンテストに参加し、子どもたちは、毎日刻々と入れ替わる順位をwebで確認しながら、時間を惜しんで練習に取り組んでいます。毎週金曜日には各部門ごとにwebのランキング表をプリントアウトして掲示し、昼の放送において体育委員会児童がランキングを発表しています。webでランキングが確認できるので、保護者の関心も高くなり家庭で親子の対話や励ましなどが生まれ、自校内での成績に満足することのない環境ができモチベーションの維持・高揚に役立ったりしています。

「webなわとびコンテスト」に取り組むことで、互いに教え合い、励まし合い、フォローし合いながら記録を向上させようとする姿が見られ、学級の団結力が高まっています。また、運動の日常化が図られ、主体的に運動しようとする意欲も向上しています。



（文責 健康教育課 指導主事 高橋英人）